

# あなたの一步が 地域を救う力になる

地域で進められている防災の取り組み。市でも地域の防災力を高め、地域の安全を守るため、各種制度を用意しています。  
▶問い合わせ 総務課 ☎0287(62)7150  
※各制度の詳細は二次元コードから確認できます。



## 消防団員募集!

地域の安全を守るために活動する消防団。現在の団員数は1,214人(7月1日現在)で、地域の人と親交を深める場にもなっています。一緒に大切な人、大切なまちを守りませんか。



## 防災士養成講座

防災に関する正しい知識と適切な判断力を兼ね備えた、地域防災のリーダー「防災士」。市では、毎年防災士の資格取得のための養成講座を開催しており、これまで446人が受講しました。今年は12月14日(土)、15日(日)に開催します。



## 消防団協力事業所表示制度

消防団員を確保し、防災力を高めるためには事業所などの協力が欠かせません。市では、消防団の活動に積極的な事業所を認定し、表示証を交付しています。



## 防災井戸登録者

災害で長期間断水すると、生活水の不足が予想されます。そこで、市では災害時に生活用水を提供してくれる井戸を募集していますので、ぜひ登録をお願いします。



## 消防団応援の店

消防団員やその家族などを対象に、割引などのサービスを提供する「消防団応援の店」。協力してくれる店舗を募集しています。



▶問い合わせ 県消防防災課 ☎028(623)2146



## 自主防災組織

自分たちの地域は、自分たちで守る「自主防災組織」。主に自治会などを中心に、現在119件の自主防災組織が市内で結成されています。市では、結成を支援していますので、結成を検討している場合は問い合わせてください。



市総合防災訓練。今年は9月8日に三島体育センターで実施予定



豊浦町自治会の避難訓練



黒磯七区自治会の防災訓練

自治会など地域住民が災害時に力を合わせる「共助」。自助では災害を乗り越えられず、公助ではカバーできない細かい範囲まで、「共助」では助け合うことができます。地域にどのような支援が必要か。その人の助け合いで、災害時に救える命があるのです。

自主防災組織の結成や、避難時に支援が必要な人を助ける計画の策定など、市内でも助け合いの輪が広がっています。

一方で、近年は地域防災を担う消防団員の減少など、地域防災力の低下も懸念されています。地域の防災力を高めるためには、一人一人の協力が重要です。災害時に、あなたの力で救える命があるかもしれません。

# 地域に広がる 助け合いの輪



思いやりの心が  
もっと広まれば――

豊浦町自治会  
清川 典子 会長

この地域は、高齢者が地域住民の70%以上を占めます。土日や平日の夜は同居の家族がいるものの、平日昼間は高齢者のみとなる家庭は増加。そんな時に災害が起きれば、高齢者だけで避難しなければなりません。そのため、5年前からあえて平日の昼に避難訓練を実施。歩くのが大変な人には手を差し伸べながら、万が一に備えています。

ほかにも防災バッグを全家庭に配布したり、敬老会で防災について話したり、高齢者でも自ら身を守れるように取り組んでいます。しかし、災害時に頼りになる若い世代が減っていることは、少し不安です。人は互いに支え合いながら生きるもの。思いやりの気持ちが少しでも地域で広がると良いですね。

災害に備え、進められる地域での防災――  
その現状と課題は？

災害への心構えを  
いかに整えるか――

黒磯七区自治会  
小泉 信三 会長



黒磯七区は、班数が26という比較的大きな自治会。災害時は初動が重要なので、班の中で助け合いが求められます。しかし、班長は毎年交代するため、知識や技術が蓄積しにくい。そこで、年2回の防災訓練には多くの人が来てくれるよう工夫しています。

浪江町出身者を講師とし震災の経験を話してもらった講座や、事前に内容を知らせないミステリー防災訓練。昨年は電話による訓練も行いました。また、自治会独自で広報誌を作成し、参加できなかった人にも情報を提供しています。「災害への心構えをいかに整えるか。そして、普段から隣近所の人間関係をどう築くか」。すぐには結果が出ませんが、10年、20年という長い視点で取り組んでいます。